



2020 年 1 月に、新型コロナウイルス感染が日本で初めて確認されてから 2 年が経ちました。その間フロアでの面会が、ガラス越しでの面会になるなど、ご家族の皆様にはご不便をお掛けしております。

今年も、昨年同様に安心してサービスをご利用いただけるよう、職員一同、より一層精進して参ります。

本年もよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 愛寿会
職員一同



愛寿会だより

冬号
第 248 号
令和 4 年
2 月 25 日発行



日頃より、社会福祉法人愛寿会の運営におきまして、ご理解とご協力を賜りましてありがとうございます

社会福祉法人 愛寿会
理事長 小宮山 光彦

令和四年の新年を迎え、あいさつを申し上げます。昨年、新型コロナウイルス感染症が日本全国に拡大し、特に九月は、多くの都道府県において緊急事態宣言を発出するなど医療体制が危機的な状況となり、国民生活や経済活動にも大きな影響を及ぼすなど、過去に経験のない感染防止の対応等に追われた一年であつたと思ひます。

当法人においても、入所者様や通所利用者様、そのご家族様には、面会制限や日々の健康管理など、大変ご迷惑をおかけしておりますが、これも施設内への感染症の持ち込み、クラスター感染の発生による甚大な影響を考慮しての対策であり、ご理解をいただくと共にご協力をお願いしました。

また、職員の皆さんにも、不要不急の外出や県外移動の際の職場への事前及び事後の状況報告の徹底、日々の生活の中での自粛をお願いし、出勤の際には、抗原検査キットによる陰性確認を行うなど、厳しい対応を要請して参りました。

その間、県内では、職場・教育現場・福祉施設等でクラスター感染が発生するなど、多くの感染者が確認されましたが、幸いにも本法人においては、入所者様及び関係者には、感染は確認されていない状況であり、皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。

令和四年早々は、全国的にオミクロン株が猛威を振るっている状況であり、引き続き厳しい対応を続けていくことが必要となっておりますので、職員が一丸となつて強い気持ちで新型コロナウイルス感染症に對峙し、笑顔で生活が出来るよう努めて参りましょう。

なお、慢性的な人材不足の解消を目的に、昨年は、その一つの方策でもあります外国人技能実習生 5 名をミャンマー国から受け入れ、笑顔での業務は好評で、現在は夜間の勤務も担当し、大きな戦力となつて

おり、さらに三名の技能実習生の雇用を進めております。

さて、今年には本法人の五十周年を迎えることとなります。これも、行政・地域・利用者様及びご家族の皆様のご理解やご協力をいただきながら、多くの職員の絶え間ない努力により、現在に至つており、心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況にもありますが、秋口には五十周年の式典の開催も検討しているところです。また、先般の理事会においても報告致しましたが、「高齢者生活支援ハウス事業」から「認知症高齢者グループホーム事業」への転換、「仁生園介護相談センター」の拡充など、将来の法人の進むべき方向を見据えながら、課題の改善等については、適切な時機を捉えて改良・拡充等の見直しを進めてまいりたいと考えています。

今後も感染症対策など、職員の皆さんにお願いばかりで恐縮ですが、厳しい状況の中においても「愛寿会の三つのモットー・七つの誓い」を実践しているとは思いますが、年頭にあたり今一度自己と向き合い、チームが協力して、より一層質の高い介護サービスの提供を目指し、業務に取り組み、入所者様・利用者様及びご家族様に、安心して施設を利用していただけるよう努めてください。

最後になりますが、関係者の総意を持って、あらゆる困難に向き合い、令和四年が素晴らしい年となりますよう、互いに頑張っていきたいと思います。



令和三年十二月二十三日、第二百二十七回理事会が開催されました

主な議案と報告事項の内容をお知らせします。

◆議案

(一) 令和三年年度 一般会計補正予算について

当法人経理規程では、「予算執行中に、予算に変更事由が生じた場合には、理事長は補正予算を作成して理事会に提出し、その承認を得なければならぬ」とされています。この規程に基づき補正予算を編成しました。

収入については、当初予算作成時より変動がありましたので、収入見込み額に基づき補正予算を編成しました。支出については、当初の予算を超える場合や計画外等の支出について、新たに予算を増額して補正予算を計上しました。資金運用の適正化を図ることを目的とした補正予算は、承認されました。

(二) 規定の改正について、関係各所を追加及び変更し承認されました。

- ・ 仁生園デイサービスセンター運営規定の一部改正
- ・ 仁生園デイサービスセンター日常生活支援総合事業運営規定の一部改正

北杜警察署から感謝状

令和四年二月十七日に、北杜警察署から感謝状を頂きました。

「平素より警察行政に深い理解と関心を寄せられ警察活動に多大な協力をされました」と、当法人が表彰されました。

今後より一層、警察行政や地域の活動に協力をさせて頂き、貢献できるように精進して参りたいと思っております。

- ・ 給与規定及び組織規程の一部改正
- ・ 施設預かり金等管理規定の制定(旧預かり金取り扱い要綱より全文改正)

(三) 社会福祉法人愛寿会評議員会の開催について

評議員会を招集する場合は、理事会の決議が必要とされることから提案され、令和四年三月二十四日の開催が承認されました。

◆報告事項

- (一) 「高齢者生活支援ハウス」の「認知症高齢者グループホーム」転換改修整備について
- (二) 仁生園介護相談センター移設等について



特別養護老人ホーム 仁生園

クリスマス会

昨年十二月二十四日に、二班ではクリスマス会を行いました。二班のフロアでは、職員がサンタクロースとトナカイの衣装を着て、利用者様と一緒に楽しみました。

クリスマスソングメドレーや、クリスマスの豆知識プレゼント紹介など盛りだくさんの内容でした。メドレーの時には、職員と一緒に体を動かしながら歌い、利用者様の笑顔がたくさんみられました。

また、豆知識披露の時は職員の間をじっと覗きながら、笑顔が一変、とても真剣な様子で話を聞いていました。他の班の利用者様も「楽しそうね」と少しだけ参加して下さい、とても楽しい会になりました。

これからも、利用者様がお元気で過ごされてまた来年も楽しいクリスマス会を開催できるように、スタッフ一同精進して参ります。



新春書き初め大会



新年を迎え、毎年恒例の書き初め大会を一月二日に行い、「あ・け・ま・し・て・お・め・で・と・う・ご・ざ・い・ま・す」を利用者様に一文字ずつ書いて頂きました。職員のお手本を一生懸命真似してコツを教えてもらいながら「墨の匂いが懐かしいね、私も子供の頃に一生懸命書いたよ」と、和やかな雰囲気の中楽しまれました。

今年も良い年になりますように：と願いを込めた書き初め大会となりました。

コロナ禍で、外出等もなかなか出来ない状況ではありますが園の中で少しでもリフレッシュして頂けるように、より一層支援に努めて参ります。



節分の豆まき

三班では、節分に豆まきをしました。鬼に扮した職員に「鬼は外、福は内」と言いながら豆を投げました。

節分に行く「豆まき」の由来は、諸説あるようですが、文字通り「節(季節)」の分かれ目。節分に行く豆まきは、季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立て、それを追い払う儀式です。宮中で節分に行われていた「追儺(ついな)」という儀式が広まったもの

と言われていきます。コロナも追い払い、一日も早く元の生活に戻れますように…。



今年の干支は『寅』!! 昨年同様、干支にちなみ「寅年ランチ会食」をしました。玉子そぼろやのりなどで、トラの顔を作りました。皆さんから「かわいい」との声があり、目でも楽しめるご飯となりました。主菜は、肉食のトラにちなんで、牛肉のサイコロステーキ、副菜はことわざの「牡丹に唐獅子、竹に虎」に準え、アスパラと筍をソテーしました。デザートは寅柄プリンです。チョコレートソースを使い「トラ」をイメージ。今年も一年、皆様健康で楽しく過ごせるように、願いを込めて作りました。

お食事紹介

～メニュー～

- ・寅柄の玉子そぼろご飯
- ・サイコロステーキ
- ・アスパラと筍のバター炒め
- ・寅柄プリン
- ・お吸い物



グループホーム やすらぎ

正月遊び・昔取った杵柄

♪年の始めの例(ためし)とて、終わりのなき世のめでたさを♪

なんと心ウキウキする歌詞でしょう。お正月と言えば、カルタ・羽根つき・百人一首等々、入居者様たちの子供の頃は楽しいことがいっぱいあったと、どなたも笑顔で話してくださいませ。



やすらぎでは、その頃を思い出して頂くためにこの時期は様々な遊びを多く取り入れます。今年は、職員手作りの「福笑い」が好評でした。単純な遊びですが、上手くいっても歪んだ顔になっても、大笑いできる遊びの良さを再発見しました。

百人一首では、職員より早くとることが出来たり下の句が言えたり…。昔取った杵柄そのものの方が、いらつしやいました。遊びの中に、来し方を思い起こして頂けることを期待しています。



陰圧室設置について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、入居者様ご家族様ともに、面会がままならないまま、二年以上が経ってしまいました。昨年の夏に特養では、感染拡大のリスクを軽減するために、ウイルスが外に漏れないように、気圧を低くした居室である「陰圧室」が設置されました。この度「やすらぎ」にも陰圧室を設置して頂きました。今後、感染隔離に有効活用できることを期待しております。



仁生園 デイサービスセンター

しめ縄・しめ飾り作り

新年、寅年を迎えるにあたり、デイサービスでは「しめ縄・しめ飾り」作りを行いました。

しめ縄づくりでは「縄を揉んでも編んでいくと良いよ」と教えてもらいながら、利用者様と一緒に作成しました。しめ飾りは、トラのマスクトを使って作りしました。今年のしめ飾りのポイントは、トラのチャームです。可愛いしめ飾りが出来ました。

とてもステキな「トラ」のチャームに見守られながら、デイサービスの新たな一年がスタートしました。



つるしんぼ作り

昨年、甲州百目柿を使った「つるしんぼ」作りにも挑戦しました。一つ一つ丁寧に皮をむいて「美味しくなりますように」と願いを込めて干しました。天日に干され、少しずつ出来上がっていく柿を、職員も楽しみにしながら待っていました。約三週間後に、出来上がった「つるしんぼ」を、利用者様と一緒に美味しく頂きました。

『つるしんぼ』レシピ

1. 柿の皮をむく
柿のヘタと、その周辺の皮をクルリと一周むきます。次に、ヘタのついている方から下に向かって厚めに皮をむきます。
2. つるし用の紐をカットして柿を結ぶ
紐の長さを、60~70cm位の所でカットします。柿の軸を紐の両端に結びます。しっかり結ばないと、柿の重さで落ちてしまうので、注意します。
3. 殺菌して干す
結んだ柿を直ぐに干す方もいますが、殺菌する事でより干し柿が成功しやすくなります。この殺菌は大切なポイントになります。
殺菌方法は、鍋にお湯を沸かし、沸騰したお湯に柿を5秒間浸けて引き上げるだけです。このステップを踏むことで、カビが生えにくくなります。その後、軒下の日当たりが良く、風通しの良い場所に干しましょう。雨に当たるとカビが生えるので、天気を見ながら柿同士が触れないように干してください。
4. 柿を揉む
1週間~10日程で柿の表面が乾燥してきます。親指と人差し指を使って、柿をかるく揉みます。さらに、5日~1週間後に再度揉みます。この時は、柿の中心までしっかりと揉み込みます。こうすると、中が渋くない甘くて美味しい柿に仕上がります。
5. 完成の目安
干し柿の完成は、約3週間後です。柿の種類や大きさによって2週間ほどで仕上がる吊るし柿もあるので、様子を見ながらお好みの状態になったら召し上がって下さい。
干し柿を割った時に、中がトロトロな状態で少し水分が残っている程度が一番おいしい状態です。日数を置きすぎてしまうと、乾燥してカチカチになるので、注意して下さい。



新春書き初め大会

デイサービスでは「新春書き初め大会」が行われました。皆さん久しぶりに筆を握るようで、緊張されている方もいらっしやいました。「うまく書けるかな」と不安を口にする方もいましたが、そんな言葉はどこ吹く風!! 見本を見ながら、しっかりとした字を書いています。



デイサービスでは、一年を通して様々な催しを行っております。コロナ禍で思うように外出が出来なかったり、窮屈な日々を送られていると思います。利用者様が、少しでも楽しい時間を過ごして頂けるように、これからも努めて参りたいと思います。本年も、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

第二仁生園

まゆ玉作り

一月十二日、第二仁生園では「まゆ玉」作りをしました。

赤・緑・黄の食紅を混ぜて
ココロと丸めた後に蒸し器
で蒸した「まゆ玉」は、綺麗
なパステルカラーに仕上が
り
樫の枝に刺して飾りました。

職員も、綺麗に仕上がった
「まゆ玉」を眺めて癒されま
した。「まゆ玉」は、家庭や

職場に祀ることにより、家内安全・商売繁盛の福
をもたらすとされています。そんな縁起物の「ま
ゆ玉」を鑑賞しながら、「やっぱり花より団子だ
よね」と笑いながら、みんなで甘いみたらし団子
を食べ、楽しいひと時を過ごしました。



お心遣いをいただき、心から感謝申し上げます

(令和3年11月16日～令和4年2月15日)

今後も、ご利用の皆様にご満足いただける
施設運営を目指し、役職員一体となって誠心
誠意努めてまいります。これからも、ご支援
ご叱正を賜りますよう、お願い申し上げます。
略儀ながら、お礼状に替えさせていただきます。

【物品のご寄附】

(順不同)

- ・板山 照子 様
- ・坂本 天地 様
- ・茅野 博文 様
- ・入江 博薫 様



愛寿会のサービスへのご意見・ご要望等が
ございましたら左記までご連絡ください。

第二仁生園 電話 0551(32)3340
電話 0551(32)8270

来園の皆様へのお願い

新型コロナウイルス等への感染拡大防止対策を
しています。ご不便をおかけ致しますが、ご理解
をいただき、厳守していただく様、お願い申し上
げます。

- ◆ 正面玄関を施設しております。御用の方はイ
ンターホンにて、ご用件をお伝えください。
- ◆ 来園者全員のお名前を伺い、検温をします。
- ◆ 最少人数でご来園ください。
- ◆ 体調に少しでも不安がある方は、事前に来園
をお控えください。

面会に関するお知らせ

☆ 正面玄関にて「ガラス越し
面会」を行っています。

◆ 電話による事前予約が必要
です(電話をいただいた日
の一週間後から予約を承
ります)。

◆ 来園前の二週間は、ご自宅
で体温を測って下さい。

◆ 少人数での面会にご協力ください。

◆ 施設内への立入はご遠慮ください(施設内の
トイレ等は使用できません)。

☆ 仁生園では、ご家族様のお持ちの iPad、
iPhone を利用した「テレビ電話形式」
の面会が可能ですのでご利用ください。希望
される場合は、ご予約ください。

※ 感染症の状況に応じ、急な面会制限をする場
合がございます。お電話でお問い合わせいた
だくか、**当法人のホームページにてご案内し
ておりますので、ご利用ください。**



新設の認知症高齢者グループホーム（令和5年4月開所予定） 開設にあたり社会福祉法人愛寿会の職員募集を行います

事業所の紹介

社会福祉法人愛寿会は、昭和47年に設立し、八ヶ岳南麓の景観に恵まれた、安全性を重視した福祉総合生活支援センターです。
働くスタッフ一人ひとりが目的意識を持ち、明るく楽しい職場づくりに取り組み、施設側も職場環境を整えスタッフを大切にする、やさしさやぬくもりを感じることができる魅力ある職場です。

- 愛寿会のスタッフは、現在約140人
- 有資格者80名 平均年収450万円
※ 勤務時間に制限のある方も歓迎
- 社会保険等の制度も充実
- 給与制度(昇給)、各種手当(処遇改善他)あり
- 各福利厚生(年休)の充実
※ 職員親睦旅行、夏祭りあり
- スキルアップの職員研修を積極的に活用

求める人材は

「人が人を元気にしていく」スタッフ1人ひとりが「利用者様を元気にしていく」「ご家族様を元気にしていく」「スタッフ自身も元気になる」そんな介護を仲間と一緒に目指す方を求めています！



愛寿会の職員からひとこと

愛寿会のモットーは

「利用者本位のサービスの実践」「専門性の活かせる職場づくり」「地域社会との協働と貢献」であり
日常の心得(七つの誓いは)

- 「はい」という素直な心を持ちましょう。
- 「すみません」という反省の心を持ちましょう。
- 「ありがとう」という感謝の心を持ちましょう。
- 「おかげさま」という謙虚な心を持ちましょう。
- 「どうしましたか」という気遣いの心を持ちましょう。
- 「そうですね」という分かり合う心を持ちましょう。
- 「させてください」という奉仕の心を持ちましょう。 　　です。

職員同士が支え、補いながらも笑顔で、楽しく、日々の仕事に向き合い、充実した時間を過ごしています。「利用者様とご家族様」に「笑顔と感動」を届けていきたいと思います。それが私たちのミッションです。



～ 採用に関するお問合せ先 ～

法人所在地 〒408-0031 北杜市長坂町小荒間 1293 番地

TEL 0551-32-3340 (代表)

FAX 0551-32-3546

HP <http://www.aijyukai.com>

E-mail jinseien@poem.ocn.ne.jp

採用担当 法人事務局長 竹中洋

